

隣接する商業施設を守る
交通機関と関連店舗の保
安強化プロジェクト開催

J E A S

工業会日本万引防止シス
テム協会（東京都新宿区、
稲本義範会長）は、4月
19日に高千穂交易セミ
ナーホールで「第1回交
通機関と関連店舗の保安
強化プロジェクト」を開
催した。同プロジェクト
では公共交通機関の施設
内や隣接する商業施設の
保護などを目的に実施さ
れたもので、参加者間で
課題の共有などが行われ
た。

開催にあたり、稲本会
長は交通機関と関連店舗
の強化策の一環として、
ガイドライン策定の必要
性に言及。鉄道会社間や
店舗間の連携に加え、顔
認証システムの有効活用
も必要となることが予想
されることを踏まえ、J
E A Sが万引防止対策な
どで培ってきたスキーム
を生かし、問題の解決に
貢献していく姿勢を示し
た。具体的には、交通機
関と関連店舗の保安強化
に向け、海外事例を交え
ながら、市民の理解を得
られるカメラの安全な利
活用、警備パフォーマン

スの向上、AIを活用し
た検知システムの有効性
などを学んでいく。並行
してサイバーセキュリティ
対策、個人情報保護の適切
な活用・共有のあり方な
どについても検討を進め
る。

今回の会合には、国土
交通省鉄道局総務課危機機
管理室の担当者が来賓と
して参加した。次回以降
は日本防犯設備協会の担
当者がオプザーバーとし
て参加の予定。